ふるさとだより (5) 2014 May **NO.36** 平成26年5月20日発行 (毎月1回20日発行)

ふるさとの復興を伝えます。 ~久之浜·大久、四倉、平、小名浜、勿来~



ふくまるに遊びに行こう!

4月26日、道の駅よつくら港の隣りにオープンした屋内遊 び場「チャイルドハウスふくまる」。ゴールデンウィーク中も市 内外から訪れた家族連れでにぎわい、館内は元気いっぱいに 走り回る子ども達の笑顔があふれていました。

ふるさとだよりの記事が動画で!!



マークのある記事にスマホ やタブレットをかざすと動 画が見られます!(見方はP11)

7年に1度の例大祭(山田町) タイムカプセル 模型完成

及川造船所 会社 する日々を送り、半年後、久之 は千葉県船橋市へ避難。そして 業員は全員無事でした。そし かな壁を残し、鉄骨がむき出 浜に戻りました。「造船所を再 葉、茨城で破損した船を修理 息子で現社長の和英さんと千 て起きた原発事故。及川さん しの姿に。それでも、家族や従 す津波に襲われ、屋根とわず に隣接する工場は、6mを超 創業44年 3年前のあの日。久之浜漁港 震災を乗り越えて今

金や補助金に加えて、何より 開するつもりはなかった。支援

船所が手がけた船が世界の海 口釣り船を造るなど、及川造 成12年にはポルトガルのマグ らの依頼で水産試験船を、平 昭和45年に久之浜で及川造船 昭和56年にマレーシア政府か 5隻造ってきた及川造船所。 浜や近県の漁船を、年に平均 所を創業しました。以来、久之 ラスチック)造船技術を学び、 造船所でFRP (繊維強化プ 筋、53年。昭和43年に、石巻の 造船所に就職。以来船造り た。卒業後、当時四倉にあった 学校の卒業文集に書きまし 所の及川初夫会長(8歳)は中 まない船を造る」と及川造船

船造り53年 及川初夫さん 最後の船大工世代

船大工になって、決して沈 無いと笑って話します。 船依頼が舞い込み、息つく暇も 地から船の修理依頼や新規造 のおかげです」と及川さん。各 再開を望む多くの声の後押し









9名の従業員が船造りに誇りを持ち、船の修理や建造 い日々を送っています

新卒の若い力が加わりました。 所にこの春、創業以来初となる

. 倉高校を今春卒業し「地!

ど毎日が楽しい」と高崎さん。 じ姿勢で行う作業は大変だけ と佐久間康平さん。「一日中同 い」と入社した高崎翔太さん で、ものづくりの仕事がした

「ものづくりは、やりがいがあ

夢を乗せて船は大海原へ 若者そしてベテランの

みがこぼれていました。

る及川さんの顔にも思わず笑 作業をする若き新人を見つめ ちは恵まれているよね」黙々と 足が業界でも問題だけど、う る」と佐久間さん。「後継者不

さん。船を下りた若者二人も 作った船だよ」と船長の島正英 が少ない。さすが及川さんが いてスピードが出るのに、揺れ が行われました。「小回りが効 乗り込み、洋上での試験航行 の言葉に「はい!」若者二人も す。「おい!若いの乗れ!」会長 れ、いよいよ試験航行に出発で のチェックや様々な検査が行わ 漁船第18海宝丸。法定装備品 した。6.6トンの小型さし網 浜の海に出る日がやって来ま ていた一隻の船が初めて久之 「自分たちが造った船が海に浮 月23日、建造が進められ

> けど、漁が再開して地元の船 に大海原のように広がっていま 船作りの大ベテランの夢は、共 入社したての若者二人、そして 利用も考えたいね」と話します。 分程。観光資源としての船の から洋上風力発電施設まで40 く来てほしい。それと、久之浜 が造られるようになる日が早 会長は「今はまだ試験操業だ



体を作り上げます。耐久年数は30~40年

と笑顔で話します。そして及川

かぶ姿を見る日が待ち遠しい

及川初夫会長(中央)と 人の新人。佐久間康平さん(左)と高崎 翔太さん(右)



多くの人の夢を乗せた初めての試験航行で海を疾走する第18 海宝丸

ふるさとに鎮守の森を取り戻そう 金ケ沢見渡神社 植樹祭

東日本大震災の津波に襲われた金ヶ沢沿岸 部。10軒あった家屋も1軒を残し流出し、集落の 中心にあった見渡神社も、鳥居や神社を取り囲 むように生い茂っていた木々も流出するなど大 きな被害を受けました。

被災した神社の復旧と鎮守の森の再生を目指 す植樹祭が4月27日、地区住民ら約300名が参加 し行われました。(主催見渡神社、共催日本財団)





矢吹一男さん 新たに 金ヶ沢行政嘱託員(区長)に

25種790本の木が植えられました

「植樹祭には地区の方も始め本当に多くの人 が参加してくれました。震災から3年2ヵ月、今 日4月27日は、金ヶ沢にとって復興への第一歩、 金ケ沢復興記念日だと思います」(談:矢吹さん)



久之浜地区放射線量測定記録 (各区代表ポイント)

●測定者:久之浜・大久地区復興対策協議会 ●測定器:日立アロカメディカル製 TCS-172 (シンチレーションサーベイメーター)

地上

0.10

0.09

0.09

0.13

0.08

0.12

0.12

0.17

0.18

0.16

0.11

0.13

0.15

単位はすべてµsv/h

地上

0.10

0.09

0.09

0.10

0.08

0.12

0.13

0.14

0.19

0.13

0.10

0.14

0.14

— ●測定日:平成26年4月23日(天候:晴れ)

測定ポイント

田之網(田之網集会所)

南町(旧道沿い中央部)

東町(旧久之浜漁協前)

西町1区(西町公園付近)

大久(大久公民館付近)

西町2区(久之浜一小正門付近)

筒木原(久之浜二小西門付近)

小山田(小山田集会所付近)

北町(久之浜駅前)

金ケ沢(鹿野付近)

小久(町田橋付近)

末続(末続駅前)

中町(旧道高木屋旅館付近)

在、最終的な取りまとめ

策定部会

に広いスペースと安全性 0名の避難者を収容できる十 可能な自家発電機を持ち、 設備や85 3階建て。屋上には太陽光発電 決まりました。耐震構造の地上 持つまちづくり機能を兼ね備 久之浜·大久支所の持つ災害時 (津波避難ビル)の基本設計 一新たに建設される防災拠点施 時間以上の連続運 が確保 26 転が

生など、多くの地区住民にもグラ

ンドデザインを広く知ってもらう

、よりわかりやすい概略版

りに向けた確認作業が行われま

設

した。加えて、お年寄りや小中学

業が進む久之浜・大久地

区復興 旦 第

グランドデザイン。4月

0)

回会議が開かれ、

終素案作 16

、施設計を経て、工事着工となる 平成28年の供用開始を目指

長する、だれもが安心して利用で

地域に親しまれ、街と共に成

作成することが決まりました。

防災拠点施設(津波避

す」(基本コンセプトより) きる防災・交流拠点をつくりま

員は左記の通りです。 れました。新たに選任された新役 状が交付され、役員改選も行わ 沢)と飯高敬一さん(大久)に委嘱 託員となった矢吹 会が行われました。新たに行政嘱 政嘱託員(区長)協議会の定期総 月25日、久之浜・大久地区 一男さん(金ヶ

平成26年度 久之浜·大久地区 行政嘱託員 (区長) 協議会役員

会長 事 事 高木 木田 根本重光 本苍延 原 木勝幸(田 寿夫(西町一) 中 (筒 南 寅 木原 町 町

監幹幹

副

会

千成26年度総会の間1政嘱託員(区長)は 開 協



龍光寺 いわき七福神弁天祭



地域づくり協議会 石川町との交流



久之浜諏訪神社 合同神幸祭

県内外からのボランティ アも担ぎ手に加わり4基の 神輿が久之浜町内を練り歩 きました。縁日の屋台も開 かれ来場者で賑わいを見せ ていました。



項人にある15月27年とス 之浜諏訪神社合同神幸 祭。地区内外から訪れた 多くの人で賑わいました 動画が見られますを練り歩きました



子どもた けず元気に大きな声を 出して神輿を担ぎ町内





※㈱東北イノベーターのHP

http://www.thkinnovator.co.jp/ で より詳しい放射線情報をご覧いただけます。



気合十分の打ち込み稽古。全国大会を前に練 習にも熱が入ります



熱血指導の皆川監督。四倉中柔道部のコ も務めています



敷地に流れ込んだ津波は、練 東日本大震災。四倉中学校の う」を合言葉に、平成21年に創 設されました。 そのわずか2年後に起きた 「四倉柔道の灯りを守ろ **一倉スポーツ少年団松武館**

開することができました。 親しんだ武道館での練習を再 を送り、翌年春、ようやく慣れ 校の柔道場を間借りする日々 床上まで達しました。 そのため同スポ少は四倉高

県内では、原発事故の影響

習場として使っていた武道館

tII

四倉スポーツ少年団

皆川公利監督と四倉松武館の団員、四倉中柔道部のみなさん

創設5年目にし

全国大会の大舞台でも 活躍を誓う

たちは快進撃を続けて見事に した」と振り返るように、選手 心して見ていることができま の団体戦では、皆川監督が「安 た2014県柔道選手権大会 今年2月に福島市で開かれ

挑みました。 の出場を決めました。 証である「福島」のゼッケンと、 年)と岩﨑由奈さん(四倉小5 故郷の期待を背負って試合に 大会では、選手たちは代表の 開かれた第34回全国少年柔道 5月5日に東京の講道館で また、賀沢夢海君(大浦小6)が、県代表として個人戦

団体戦、個人戦ともに惜し

励んでいます。 で外遊びを控える傾向があっ

くなりました」と話します。 子ども達は精神的にたくまし

たが、震災を経験したことで、 使えなかった時期もありまし たちは、元気いっぱいに練習に 下が指摘されていますが、団員 たために、子ども達の体力低 皆川公利監督は「武道館

きく成長したことでしょう。 経験したことで、ひとまわり大 話していた選手たち。大舞台を な大会に出られてうれしい」と 試合前、「全国大会という大き くも初戦で涙を飲みましたが、

紅組も白組も頑張れ 四倉小で春季大運動会

めに、例年よりも早い運動会と 教室が出来る前に開催するた 予定していて、校庭にプレハブ 今年度、校舎の耐震化工事を なりました。 春季大運動会が開かれました。 4月26日、四倉小の校庭で

つかめ
全力で!もえる心を運 今年のスローガンは「勝利を

生による鼓笛パレードの演奏 の競技に取り組んだほか、6年 かけつこや綱引き、玉入れなど か会場を沸かせました。 児童たちは紅白に分かれて

「栄光の綱引き~引こうぜ!引こうぜ!」では気 合十分の表情



練習の成果を発揮して息の合った演奏をし た6年生

公民館で市民講座 防災・減災について学ぶ

参加しました。 開講式には、住民ら約20名が 月8日に開講しました。 さしい防災・減災講座」が、5 公民館の会議室で行われた 四倉公民館の市民講座

> いて」「都市の減災のしくみにつ いて」「災害時の損害保険につ ついて」「災害時の傷の手当につ いて」「四倉地域の浸水範囲に 今後は「放射能と放射線につ

の現状や仕組み、課題などにつ 説明をし、参加者は地熱発電 熱発電や地中熱利用について 特命教授と特命准教授が、地 ネルギーについて」。講師を務 いて理解を深めました。 める福島工業高等専門学校の 初日のテーマは「再生可能工



時折メモを取りながら、熱心に講師の説明に耳を傾ける 参加者のみなさん

井田海岸の堤防(4月23日撮影)

プカットする主催者と来賓のみなさん

式典後、館内は家族連れでにぎわいました

四倉地区の南部を流れる仁井 災害復旧工事始まる 一井田地区海岸で

5mかさ上げし、海抜7.2mの が進められています。 現在、海岸堤防のかさ上げ工事 高さにします。 川までの海岸線、約2.1㎞です。 工事では、現在の堤防を約1. 川の河口から南側の海岸では、 延長は仁井田川から原高野

います。 どを取り壊わす作業が行われて ち、既存の堤防の管理用道路な 現在は、かさ上げ工事に先立

ました。

完成予定となっています。

なお工事は平成28年3月末に

寄贈されたハ カ大使館から 達が、アメリ 来賓と子ども ナミズキを植 の広場では、 また施設前

樹しました。

館内に子ども達の歓声響く

ふくまるオー

四倉

四倉地区行政嘱託

(区長)協議会総会

年度の事業計画と収支予算、会 れました。 則の改正などが原案通り可決さ の委嘱状の交付などのほか、今 退任者への感謝状贈呈、新任者へ かれた、平成26年度の総会では 4月25日に四倉商工会館で開

4月26日、道の駅よつくら港

は以下の通りです。(敬称略) た。新任者と新役員のみなさん また役員の改選が行われまし

(5)

昨年11月に再建された鳥 居をくぐって渡御が開始

楽寿荘や四ツ倉駅裏の仮

甲興が渡卸

男いわき市長、森まさこ内閣特

泉美理事長があいさつ。清水敏

命担当大臣ら来賓が祝辞を述べ

孤児・遺児をみまもる会の曽我

雄二理事長と、同ふくしま震災 るNPO法人よつくらぶの佐藤 た。完成式典では、施設を運営す 隣りに同施設がオープンしまし

忠平(袖玉山区)、大間亮一(中島 区)、菅波啓太郎(玉山区)、佐藤 棚部巖(駒込区)、照沼晴一(柳生 塚誠(名木区)、大谷泉(塩木区)、 井田区)、古市七蔵(大森区)、赤 仁井田仲・岸区)、根本利一(下仁 外山浩(12区)、木村幸雄(上

会 顧 ◆協議会新役員◆(新任者のみ掲載) 長〉公平和俊(15区) 問〉長谷川直惠(4区)

各地区の諏訪神社

(副会長)緒方正則(6区)

渡辺金次(白岩区

理

(上仁井田北区)、園部正恵渡辺義郎(5区)、髙木忠勝 (山田小湊区)

面川貫一(10区)、宮本茂(戸田

PICK UP/





練り歩きました 女御輿も威勢よく町中を

諏訪神社の神輿

商店街を勇壮に渡御する

諏訪神社

井田

地区の約6年の家々を回 りました

朝6時、神社を元気に出発

した子供神輿

(





\CHECK! / ♪ 動画が見られます



\CHECK! **♪** 動画が見られます



まちの復興が進み担ぎ手による渡御が待ち遠しい



トラックまで神輿を担ぐ短い間でしたが盛り上がりました



3日、宵祭りで披露された改修した神輿



雲雀乃苑の前で威勢よく神輿を揉む



地区では2基の神輿が練り歩きました



難所の階段からスタートで気持ちも高揚します



沼ノ内漁港で休憩。神輿も市場内で休憩

地域を彩る 春の例大祭特集

平地区 豊間・薄磯・沼ノ内

5月4日、平3地区の例大祭が行われまし た。普段は基礎撤去工事や防潮堤の復旧工事 の音が響くまちを、この日は威勢の良い声と神 輿が練り歩きまちを明るく彩っていました。

今年は工事範囲も広がり各地で神輿のルー トを変更したり、大国魂神社の神輿渡御も見送 られましたが、まちの復興に祈りを込めた神輿 が地域を彩っていました。



準備を終えて出発。町内を練り歩きました





進捗状況がひと目でわかる掲示物やミーティングの ためのテーブルもあるPRルーム。



も設置されています。 見を受け付ける「意見箱 す。また、工事などに質問や 利用できるようになってい 利用時間と休館日 ティングテーブルも用意 土曜日8時30分から4時 住民のみなさまが気軽 日8時30分から5時

校南側、豊間はバス通りの原 場所は、薄磯は旧豊間中学 PRルームには飲料設備や バス停付近にあります。

示したり、進捗状況をお知ら ネジメント)により豊間、 々に広報する目的に開設し 地区内の復興事業を地域の (CM(コンストラクション・ している「PRルーム」 開するなど事業概要を掲 れはいわき市震災復興事 映像で完成予想図を

事 間 内 所を開 開区設に

沼ノ内地区

見られます

月20日、豊間小学校体育

17

海まち・とよま市民会議 新年度スタート

樹木苗を採取

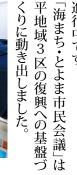
帯が参加し、申し込み手続き 磯約6世帯、豊間約150世 団地」の入居説明会があり、薄 害公営住宅「薄磯団地」「豊間 館で6月から入居が始まる災

「どんぐりプロジェクト」

4月10日、新しい市、県職員

て話し合われた結果、学校に されたロゴマークの制作につい 目の市民会議が行われまし メンバーでの新年度の第1回 25日には前年度から持ち越

ジェクトのメンバー選出も学 ページを立ち上げ情報発信を の連携を」とフェイスブック 校PTAなどで参加者を募り 行っていきます。子育てプロ 発想力を取り入れることに。 依頼して子どもたちの自由な また、「より多くの人たちと





当者が対応していました。

地域ならではの樹木を選びました



説明しながら、行政、地域住民 予定地域で、市と県建設事務 ら採取しました。 35名で春の野山を散策しなが た。前回に引き続き、樹木医、 ぐり苗木採取」が行われまし 所、UR都市機構共催の「どん に根付く樹木を分かりやすく 不田都城子さんの指導で地域 薄磯・豊間の高台

うまで大切に育成されます。 、トに移植され、町の整備が整 今回、採取された苗木はポ

る ≤ 今月のPHOTO

ジオラマを用いて話し合う市民会議メンバー



住宅の設備などの質問に各担 疑応答もあり、書類の記入や 定されました。説明会では質 書類の記入説明や住宅管理 八、駐車場管理会役員が仮指 PICK UP/ 平地区(豊間・薄磯・沼ノ内)

ひばり事務所加藤和也代表(右)

美空ひばり後援 会のメンバー170名 が薄磯の雲雀乃苑 を訪れ、ひばり像な どの維持管理にと薄 磯観光組合とメモリ アルパークひばり協 議会にそれぞれ、30 万円の寄付をしまし

薄磯復興協議会

主催のゴミ拾いイベ

ント「薄磯クリーン

作戦」が塩屋埼灯台

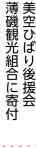
周辺で行われ、日本 財団学生ボランティ

アセンター、NPO絆

projectの協力で清

掃活動をしました。

19⊟ 薄磯観光組合に寄付



灯台周りでクリー 薄磯復興協議会



の手元を見る参加者たち



ロータリークラブ20名が訪れました

市内のロータリー が、豊間、薄磯、沼ノ 内の3地区で運営 する「桜基金」に協 賛金70万円を寄付 しました。

丸又蒲鉾工場で、

「NPOパワーオブ・

ジャパン」主催の料

理教室が行われま

した。副代表の山野

辺仁シェフの指導で

地域住民25名が参

加、シェフのお手本

の後に参加者が課 題の料理を作って

いました。

桜基金は、これか ら整備する3地区の 防災緑地や公園な どに桜の苗木を植え る目的で設立されま した。

ロータリークラブから 「桜基金」に寄付



これからもきれいな町をめざします



練り歩く担ぎ手たち

全な成長を願いながら、商店 と安全、子どもたちの心身健 勢よく練り歩きました。 【や小名浜魚市場などを威 さんの人がいる〈いわき・ら・ら・ ミュウ〉を力強く



の人たち。港町小名浜の繁栄

に住む人やみこしをかつぐ会

担ぎ手たちは、小名浜地

域

神輿が車輦しました。 内子ども会神輿が渡御し、

しされ、千貫神輿と氏子町

本

5月3日、晴れ渡る青空の

の色をした鳥居から宮

豊穣の願いを込めて、本神輿中、区内の安全と繁栄、五穀

5月4日、晴天に恵まれた

道饗(みちあい)祭で観客を賑わせた福島県

紐や襟にかじの葉の社紋がつ

かじの葉会のみなさんは、帯 消防団、消防署員のみなさん。

鳶土木工業連合会による梯子乗り

域を渡御しました。

担ぎ手はかじの葉会や地元

と子ども神輿3基が江名地

鎮魂、そして早期の復興を願う

小名浜諏訪神社 例大祭



稚児の衣装を着て一生懸命歩くわかぎ幼 稚園の年長組さん

1 CHE I►

動画が見られます

〈タウンモール・リスポ〉大駐車場で心に響く演奏をする和 太鼓の会[さつき]

宮出しのため、江名独特の「おいさー」の掛け声とともに 石段を降りる 65 名の担ぎ手たち

道案内の天狗様にお利口になりますようにと、頭を撫でて もらう小さな子



獅子舞に続いて元気な掛け声で練り歩く子どもたち

江名諏訪神社 例大祭

ふるさとの伝統と誇りを守る



成25年3月から建て替え工事

き海星高校〉の体育館は、

活気に溢れ町全体が一体と なった神輿揉み





全校生徒が耳を傾ける中、「やっと全校 集会ができるようになった」と喜びを話



かりと見つめながら、

した。今の江名の海と町をしつ いた今年新調した浴衣を着ま

鉄筋コンクリート構造の体育館。2階に は格技場があります

ちに語りかけました。 間を振り返りながら、 てください」と、震災後の3年

の気持ちを忘れず、大切に使っ 方に頑張っていただいた。感謝 活動を行っていました。 館を借りて、体育の授業や部 にある小名浜高校の第2体育 育館ができるまでの間、近隣 を開始。生徒たちは新しい体 会が行われました。 事が完了し、同月21日に真 澤尻京二校長は、 しい体育館を使って全校集 そして今年4月、いよいよ 「多くの

津波によって全壊したへいわ

中之作港の岸壁

段差が生じて安全に船が着く ては、27年度末の完成を目 でいます。 き概成に向けて、 の復旧も一部完成し、 岸壁工事は24年度秋に開始さ 岸壁の復旧をはかりました。 ことが出来なくなったたため して取り組んでいます。 (ほぼ完成すること)。防波堤 盤 26年2月に概成しました が沈下しました。岸壁 (作港は津波で被災し、 事が進ん 、引き続



高台からみた中之作港の岸壁

厅舎を完成させました。

団第2支団

第 1

2 班

、気持

割を担ってきました。震災に より建物は津波を受け半壊。 25年度までの3年かけて新 間地域の防災拠点として役 の補助金を活用し、 名浜消 小名 浜消 所が落ち 防署 防署江名分 、 23 年か 成

小名浜



ています。また、 急車及び査察広報車を備え として生まれ変わった建物内 テープカットをして新庁舎に 会議長が祝辞を述べたほか、 待しての落成式が行われまし には消防ポンプ車、高規格救 た。式では、市長が式辞、 、待を寄せました。耐震構造 係者への感謝状の 4月8日には、約40名を招 地 心内には、 が贈呈や 、市議 ちを新たに地域の方々と連携 い」と力強く話していました。 心と安全を提供して行きた 拠点庁舎の完成を機に、 の詰所を併設しています。 しながら、これまで以上の安 菅波祐所長は「新しい防

住所 小名浜消防署江名分遣所 いわき市江名字藪倉 156番地の1



中之作港の今

事

進捗状況

落成を祝ったテ -プカットの様子

PICK UP/

直してみんか!床塗装大会



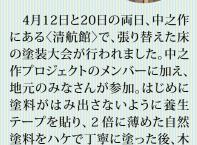
市内の分遣所初の防火服ロッカ

中之作プロジェクトの豊田善幸さん(左から2番 目)と床塗装を楽しむ参加者



2回目の塗装を終えた床。後日、はっ水塗料の柿渋 を塗り、床塗装は完成するそう

▶12日には、清航館 の看板が完成。趣の あるそば鉢にステン レス製の文字



参加者から「初めて床塗装しま したが、楽しかった。味があり、清航 館の雰囲気に合っていていい」と、 いう声が聞かれました。

綿でふき取りました。

小学校の避難訓練

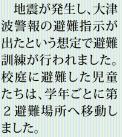


高台にある洋向台中央公園まで避難した児童

江名小学校(5月7日)

地震による停電で 校内放送が使えない との想定。安田茂教頭 が「揺れがおさまりま した」と拡声器で呼び かけると、子どもたち は非常口を通り校庭 に避難しました。

永崎小学校(5月2日)





初めて避難訓練をする1年生。先生の指示に 従って、机の下に避難

はびまりと歴史奴踊りの

大名行列をアレンジした、現町の山田奴。 文化11年4月8日に初の奉納

大名行列をアレンジした。現代名行列をアレンジした。現場によって復活を遂げまれる年に落成した常磐共同火力和33年に落成した常磐共同火力和35年に落成した常磐共同火力を途絶えてしまったそうです。

で賑わいを見せました。で賑わいを見せました。で賑わいを見せました。でから、ちょうどれるようになってから、ちょうどれるようになってから、ちょうどでしている「声話・月山でとに行われている「諏訪・月山でとに行われている「諏訪・月山でとに行われている「諏訪・月山でとに行われている「諏訪・月山でという。

一切上がる。

で交互に行われているため、今年7年ごとに上山田、下山田地区地区内で執り行われた同例大祭。平成20年の前回では、上山田

ら北野神社の神輿も合流。太鼓

また昼頃には、上山

田地

篠笛の演奏が披露され、

- 取方伸士から出発して伸興ななりました。 は下山田地区内での執り行いと

の披露も行われました。

の披露も行われました。

の披露も行われました。

の披露も行われました。

の披露も行われました。

の披露も行われました。

証訪神社から出発した神輿は、

手が沸きあがりました。

行われているたった。

伝統を受け継ぐ 200年の節目を迎えた 111 は公

200年目の例大祭を終えて 諏訪・月山両神社例大祭

坂本 製 製 製 製 製 長 (4)

| CHECK! / ♪ 動画が見られます

澤田 忠雄副委員長66





今年3月から地区の方々と練習を始めてきました。その甲斐あって、それぞれが成果を十分に発揮できたと思います。また、これだけ大勢の人が見にきてくれたのは始めてだったので、とても感激しています。今回の例大祭を機に、地域の絆がより深まりました。



薙刀を奉納した子どもたち。この日のために練習 を積み重ねてきました



神輿の出発とともに雨もあがり、青空が広がりは じめるなか地区内を練り歩きました



化粧を施し華やかな衣装に身を包んだ、山田長持保存会のみなさん。「花笠音頭」や「きよしのズンドコ節」に合わせて演舞も披露されました





タイムカプセル模型完成!

NPO法人勿来まちづくりサポートセン ターが現在行っている「いわき市勿来地区 の津波被災者が実体験を未来に遺すタイム カプセル事業」。震災の記憶を風化させない ため、被災者の証言などを記録し、それをタ イムカプセルにして岩間町に整備される防 災緑地に遺そうという活動です。

3月13日、制作に協力している東京藝術大 学から3人の先生が訪問。設計図と模型が 公開されました。卵型のモニュメントを設置 し、その下には高さ約2メートルの収納庫 を整備。収納庫には階段で下りられるように なっており、そこにタイムカプセルを保管す るという仕組みです。また、部屋の壁には子 どもたちに絵を描いてもらう、という案も検 討されています。



ュメントの完成イメージ図。孵化(タイムカプセルの開 封)を待つ明るい未来や、中の物(被災者から集めた実体験 の記録など)を慈しみ暖めるというイメージから、卵をモチ フにされました



◀モニュメント、およ び収納庫の模型。完 成後、入り□となる階 段は蓋で覆われ、タイ ムカプセルが開封さ れる20年後まで封鎖 されます





南防波堤の震災直後(写真上)と、復旧工 事完了後(写真下)の様子

鍬入れを行う出席者のみなさん

てしまった防波堤や船 現は、平成24年9月から工 K漁港。現. 盤が 一大な被害を 港 脜 m 在 約 の南 揚場 0) 工. 外 事 壊 50 が な れ cm**7** としています。 来年2月末までの完成を目 なお、詳細は県 在も作業が進められており などの復旧 沖 船揚場、 側 0) 長さ約 また砂浜側 工 事を

受けた小り

浜

沈下するなど、甚

災により地

どを含めた、港の復

にある長さ約230

められています。

建設事務所・建設課まで。 0246·53·71 小名浜港 4 7

事 が 工され、 今年3 月

関 田地区 の取り組

どが、 事 備 4 事着工に立 事業 月 錦 14 町 月 原 錦 \mathbb{H} • 関 地 鱦 内で執り 田 基 地 金盤総 区

しました。

平

成

25

月 0)

70 9

m

防 か

整備 付金を活用し農地の再生を図 た地域において、 われました。 ることを目的とした同 57 haとされており、平 波により被災してしまっ 面 積は錦 向けた起工式典な ·関田地 、国の復 区内の 事業。 -成 27 顚 \overline{o}

開

始

こそ地区だより

地域史シリーズ最終巻 発刊

勿来地区の歴史や地誌などをまと めた、「いわき市勿来地区地域史3」の 上下巻が、3月に発刊されました。

今巻では、昭和20年から現代まで の内容を掲載。東日本大震災の被害 や復興状況も記録されています。詳し くは、いわき市勿来地区地域史ホーム ページをご覧ください。

http://nakoso-mukashi.blog.jp/

天高く昇るこいのぼり

この日、大倉保育園の赤津慎太郎副 園長と、職員の赤津岳洋さんが、大きな こいのぼりを揚げていました。

昨年10月に新園舎が完成し、およそ 半年が経った同園。真新しい園舎で元 気に遊ぶ子どもたちを見守るかのように、 こいのぼりが揚がります。赤津副園長は 「子どもたちも新しい環境にすっかり慣 れ、仮園舎にいた頃と比べてのびのびと 遊んでいます」と笑顔を見せました。



Part.3

年度の完成を予定しています

みんなで行う「まちづくり」

4月21日、「なこそ未来ばなし」(いわき市南部地区まちづく り事業)第6回実行委員会が、勿来支所3階大会議室で行わ

今回は、前回までの話し合いをふまえ、小テーマの候補を 選出。それぞれのテーマが相応しいものか、討議の順番はど うすべきかなど、意見を出し合いました。

また、当日の開催日程についても討議。2日間にわたって 開催される「なこそ未来ばなし」では、参加者の疲労も考え 「休憩時間をしっかり入れること、終了時間をなるべく早めに

することが必要ではない か」という意見も上がりまし た。なお、その後に行われた 話し合いのなかで、開催日 は9月6、7両日に決定しました。

次回の実行委員会では、 今回出された意見をまとめ、 小テーマとその討議順を決 定する予定です。



今回の参加者は約35名。それぞれ4つの 班に分かれ、「なこそ未来ばなし」の開催に 向けて真剣に討論しました

災害公営住宅入居についてのお知らせ

入居申込みの二次募集始まる

昨年、災害公営住宅全団地の一斉入居申込みを実施した 結果、空き住戸となっている団地があることから、二次募集 の受付を開始しました。

- 受付期間: 平成26年5月12日(月)から平成26年6月13日 (金)までの平日
- ●受付場所:市役所本庁1階特設窓口 (受付時間 9:00から17:00時まで)

小名浜 · 勿来 · 常磐 · 四倉支所各経済土木課

対象団地及び戸数 11団地(320戸)

【内訳:団地名(仮称)及び戸数】

久之浜(35戸)、四倉(3戸)、沼ノ内(4戸)、薄磯(31戸)、 豊間(3戸)、内郷雇用促進住宅(187戸)、常磐湯本(1 戸)、常磐関船(4戸)、小名浜(1戸)、錦(8戸)、勿来関田 (43戸)

※上記のほかに、車いす用の住宅 (5団地9戸) も募集しますので、 別途ご相談ください。

入居支援事業創設

災害公営住宅への入居に係る費用の負担を軽減するた め、一時提供住宅等から災害公営住宅に移転する際の引越 し費用に対する補助事業が実施されます。

- ●補助金額:引越し費用額(一世帯一回限り。上限額10万円 消費税相当額含む)
 - ※補助金の額は、引越し費用の1,000円未満を切り捨て た額。
- 事業実施期間:平成26年5月1日から平成28年6月30日
 - ※関船、沼ノ内及び錦団地入居者は、引越しに着手、完了 している場合であっても補助金を交付します。

詳細については、市住宅課まで。☎0246-22-7497

なんでも伝言板

いわき明星大学 「震災アーカイブ室」公開

東日本大震災と原発事故の記録 を後世に伝えるために開設した「震 災アーカイブ室 | の一般公開が5月 16日からスタート。福島県浜通り地 方を中心とした、震災関連の書籍や DVDなどを見ることができます。

- ◆公開日:毎週金曜日(祝日休み)
- ◆時間:10:00~16:00

【問い合わせ】いわき明星大学復興 事業センター「震災アーカイブ室」 **2**0246-29-7198

将来のライフプランを無料 で個別アドバイス!

『住まいと暮らしの再建相談会』 〈6月の日程〉

◆14日(土) 文化センター第1会議室 ◆21日生) 勿来市民会館第2会議室 開催時間 10:00 213:00

③15:00(各90分程度) ※お申し込みは各開催日の7日前まで。 【予約・問い合わせ】

市ふるさと再生課☎0246-22-7437

ふるさとだよりに情報やご感想・ご質問をお寄せください

- ●メールの方/furusato@asally.co.jp 携帯電話からのメールはQRコードを 読み取ってください。
- ■FAXの方/☎0246-26-5157
- ●おたよりの方/左記編集室まで



いわきあいあいで情報発信中!! いわきあいあい

できごと PICK UP

応急仮設住宅や雇用促進住宅などで行われたイベントを紹介

10⊟

心も体もリラックス

中央台高久第一応急仮設住宅

茨城県在住の訪問看護 師、落合峰子さんと、リラク ゼーションセラピストの落 合未知子さん親子が、ボ ディマッサージのボラン ティアに訪れました。

参加したみなさんは順番 に体をほぐしてもらい、心 身ともに癒されていました。



足の爪を切ってもらう参加者

13⊟

和やかに桜の木の下で

内郷雇用促進住宅

内郷雇用促進住宅自治 会(橋本陽一郎会長)主催 でお花見会が開かれました。 集会所ではバンドの演奏 会が行われたほか、特設テ ントでは焼きそばなどが用 意されました。また、IHクッ キングヒーターの体験コー ナーも人気を集めました。



300食が用意されたなめこ汁に舌鼓

「ぶらっと」スカイストアに移転

継続を希望する利用者の声が後押 しとなり、被災者のための交流スペー ス「ぶらっと」が4月6日に移転オープ ンしました。手芸、将棋などのサーク ルのほか、復興支援にかかわる行政 関連の情報や、町のさまざまな情報

誌を見ることができます。

●利用時間:10:00~17:00

定休日:水曜日 ●住所:平一町目25

スカイストア内 ●問い合わせ:0246-38-6785

災害公営住宅の整備状況2 4月22日現在

四倉団地

○建設戸数/集合住宅 130戸(1・2・4号棟 30×3=90戸 3号棟40戸)

戸建住宅 21戸

○構 造/集合住宅

PC造(1·2·3·4号 棟 5階建て) 戸建住宅 木造

現況写真(写真右1号棟、左2号棟)



ふるさとだよりの記事が動画でも見られます!

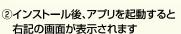
スマホやタブレットでの見方

①COCOARアプリを端末にインストール

iPhone /iPad…AppSTOREからダウンロード Android…Google Playからダウンロード







- ③マークをタップします
- ④画像をスキャンします
- ※画像に光が反射しないようにスキャンしてください

